

## 8 . 商店街振興に関するアンケート

### ( 1 ) 調査要領

- ・ 調査目的

この調査は、所沢市内の商店街における現状や課題などを把握することにより、今後の商店街振興施策の基礎資料とすることを目的として実施した。

- ・ 調査機関

所沢市産業経済部商業観光課

- ・ 調査時期

平成26年10月～11月

- ・ 調査方法

郵送によるアンケート調査

- ・ 調査対象

所沢市内の44商店街

### ( 2 ) アンケート結果の概要

アンケートは、23項目について行い、35商店街から回答があった。(回収率：80%)  
そのうち、商店街の振興に向けて特に重要と思われる以下の項目について掲載する。

商店街の会員数について

商店街加入促進策について

商店街役員の平均年齢について

チェーン店の商店街加入状況について

商店街の景況について

商店街が繁栄していない理由について

商店街が抱える課題について

今後の商店街の景況について

商店街内の空き店舗について

空き店舗状況の継続理由について

後継者不足や事業承継対策の位置づけについて

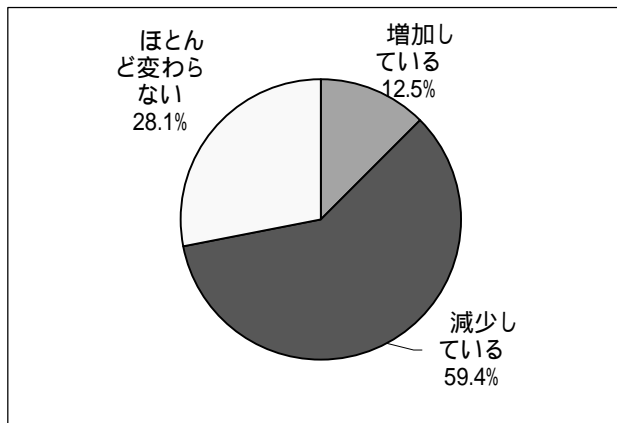
商店街活性化活動について

今後行いたい活動について

商工会議所に対して望む事業

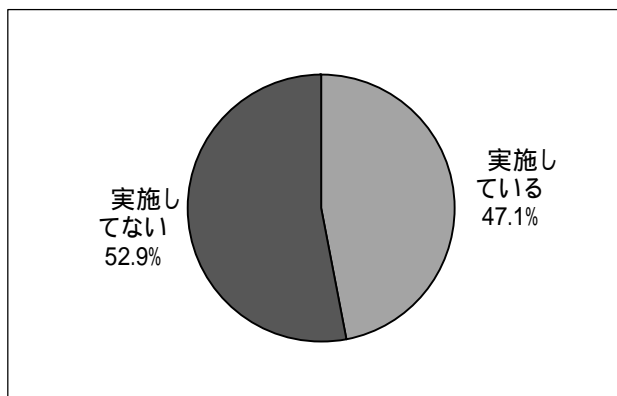
市に対して望む事業

### 商店街の会員数について



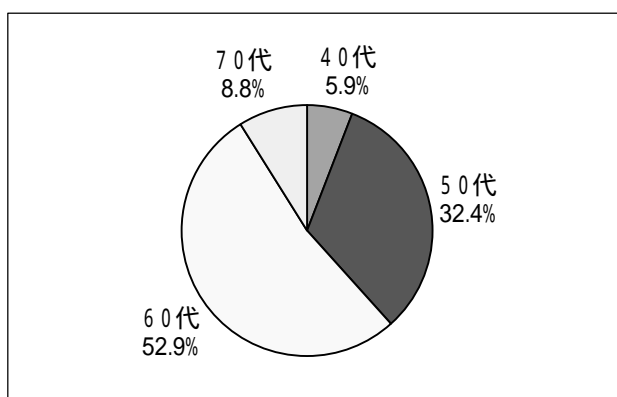
6割近くの商店街から、会員数が減少しているとの回答があった。増加していると答えた商店街は約1割。

### 商店街加入促進策について



加入促進策を実施する商店街は約半数であり、具体的な促進策としては、勧誘、会費の減免、入会金の免除等がある。

### 商店街役員の平均年齢について



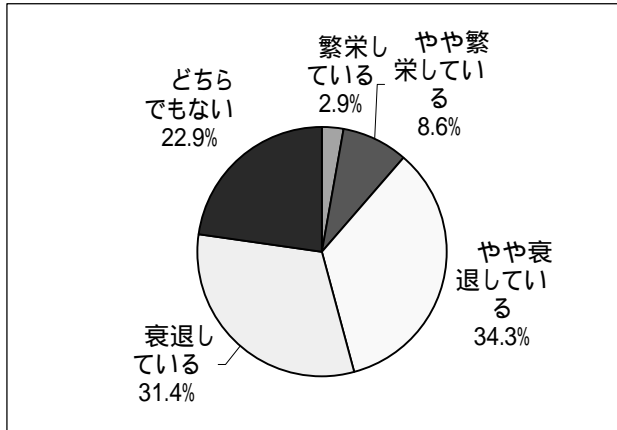
商店街役員の平均年齢は60代が一番多く、50代が2番目に多い。60代70代を合わせると6割を超える。

### チェーン店の商店街加入状況について

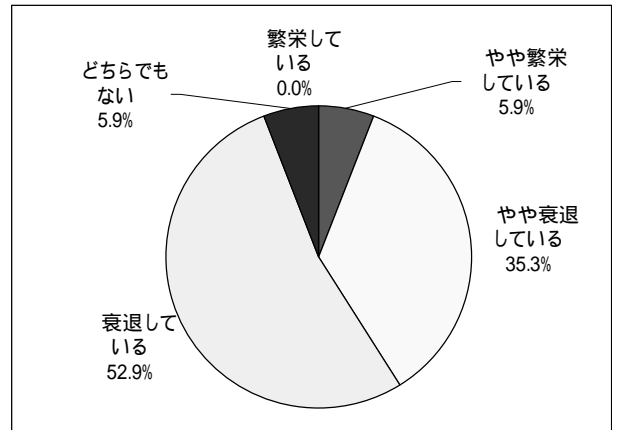
商店街内のチェーン店舗数	304店舗
うち商店街会員数	175店舗
商店街加入率	57.6%

## 商店街の景況について

平成26年調査

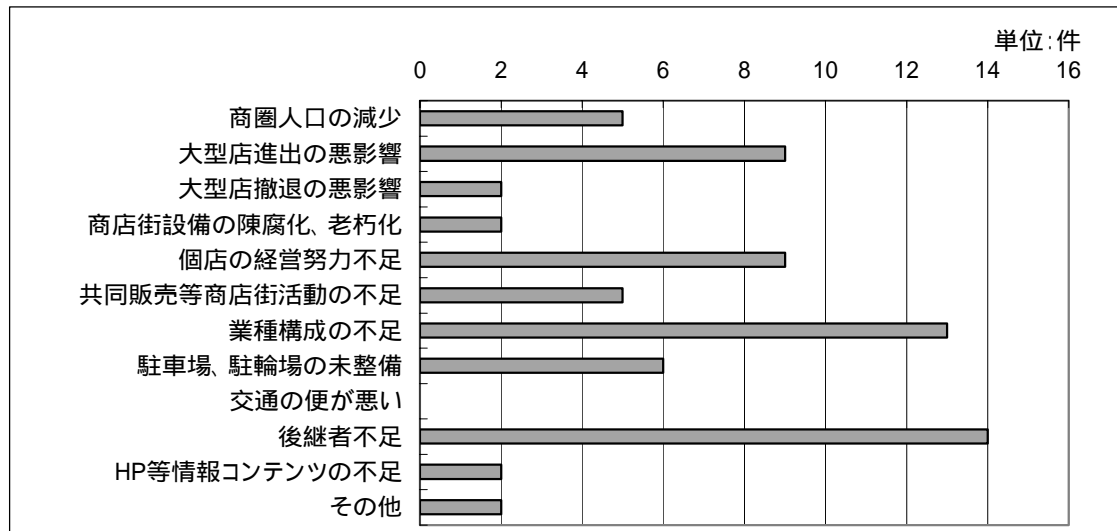


平成20年調査



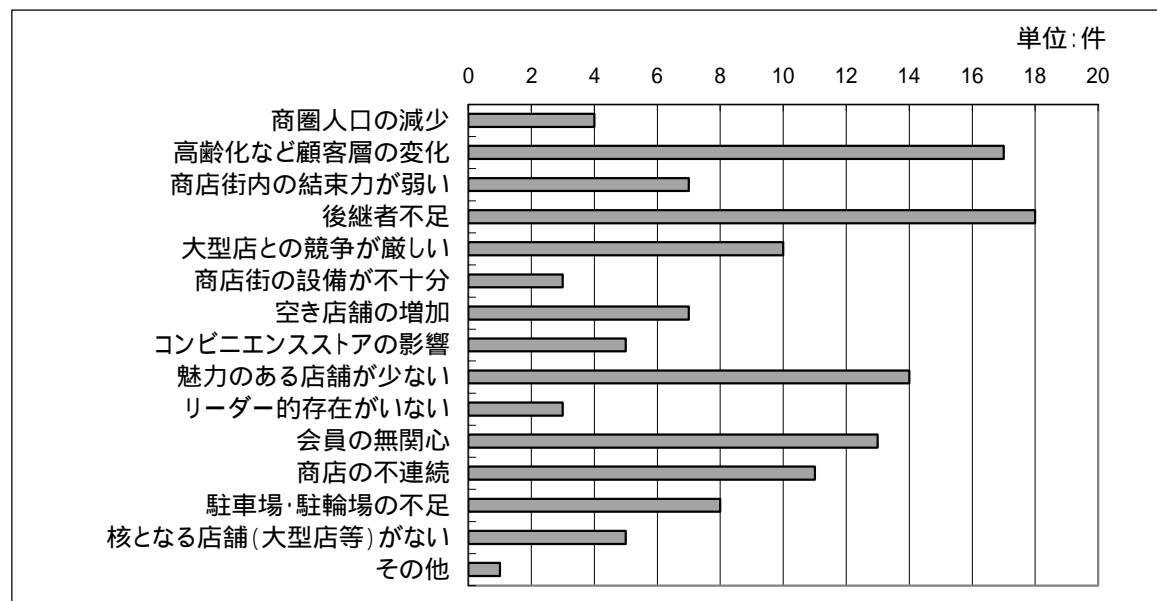
平成20年調査時と比べると、商店街の景況感は回復している。

## 商店街が繁栄していない理由について



最も回答が多かったのは「後継者不足」であり、その他でも商店街内部の状況についての回答が多い。

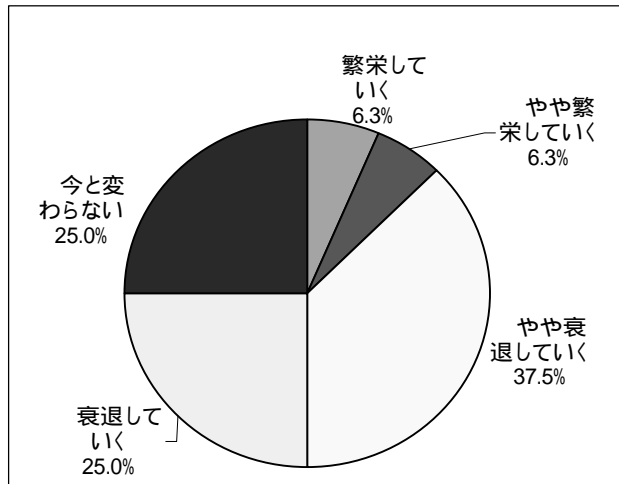
## 商店街が抱える課題について



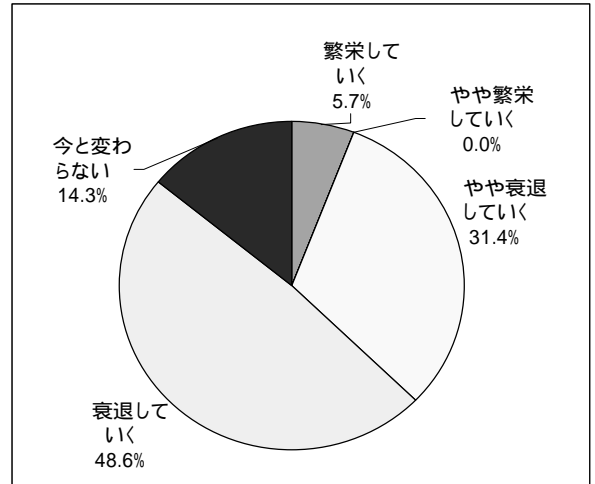
最も多かったのは「後継者不足」との回答で、「高齢化など顧客層の変化」がそれに続いた。ソフト面に関わる課題が多く選択された。

## 今後の商店街の景況について

平成26年調査



平成20年調査

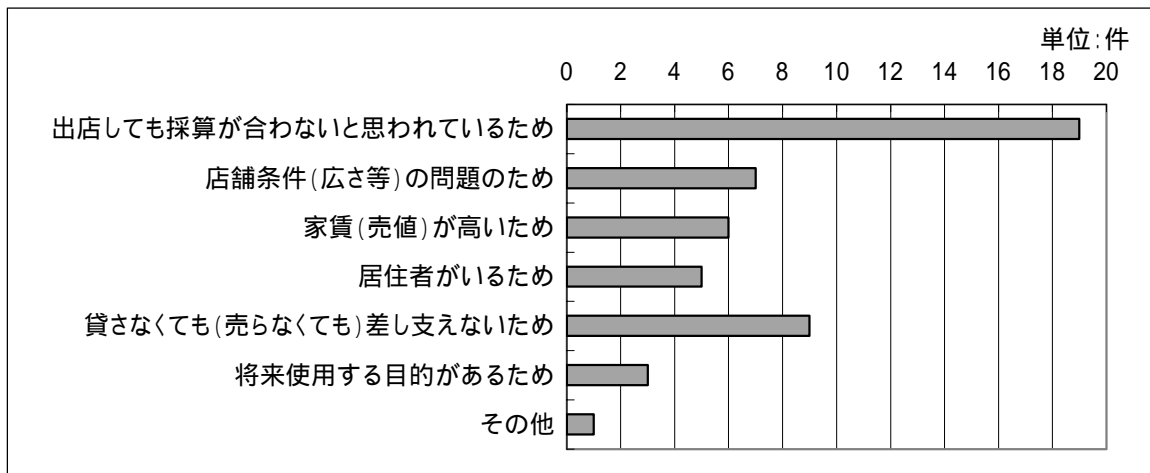


今後の見通しについては、平成20年の調査時と比べて楽観的となってきたものの、「やや衰退していく」と「衰退していく」との回答を合わせて6割を超えており、悲観的に見ている商店街が多い。

## 商店街内の空き店舗について

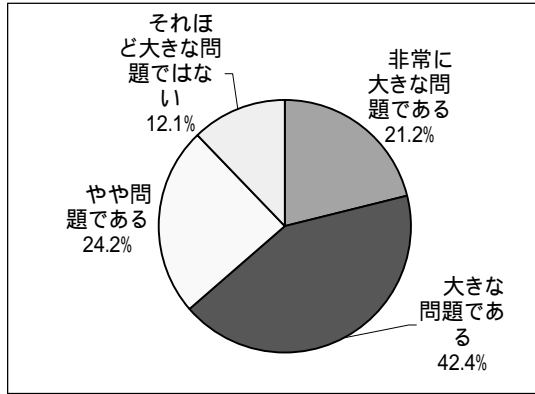
商店街で把握している空き店舗数	137店舗
空き店舗発生防止策の実施	11商店街
空き店舗発生防止策実施率	33%

## 空き店舗状況の継続理由について



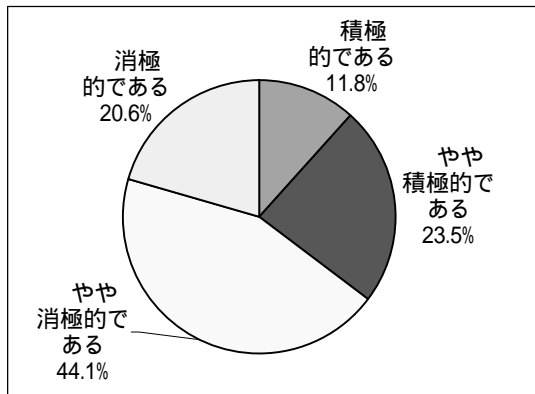
空き店舗の状態の継続理由の1番目に多かった回答として「出店しても採算が合わないと思われるため」があり、商店街の空き店舗の家賃相場が高めと思われることが伺える。

### 後継者不足や事業承継対策の位置づけについて



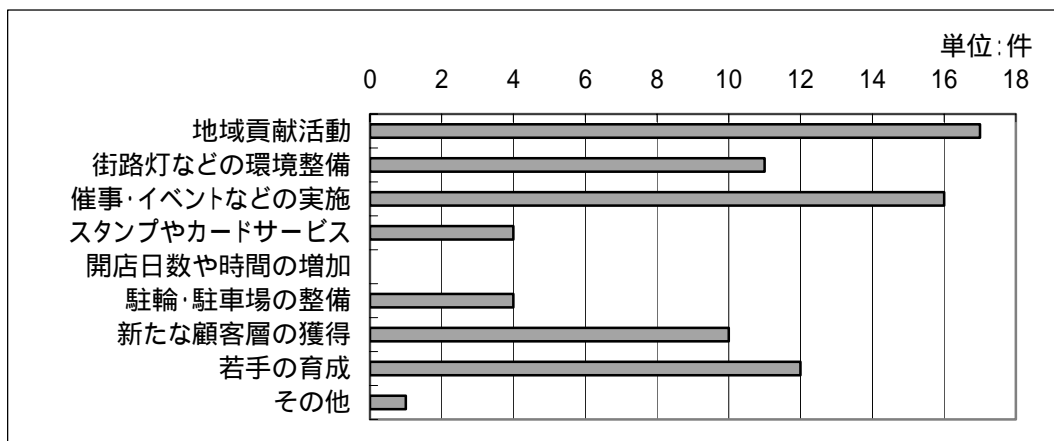
後継者不足や事業承継対策は、8割を超える商店街で問題であると考えられている。一方、そのための対策を採っている商店街は約1割にとどまっている。各商店街の対策としては若手グループを設置するなどの対策をとっている。

### 商店街活性化活動について



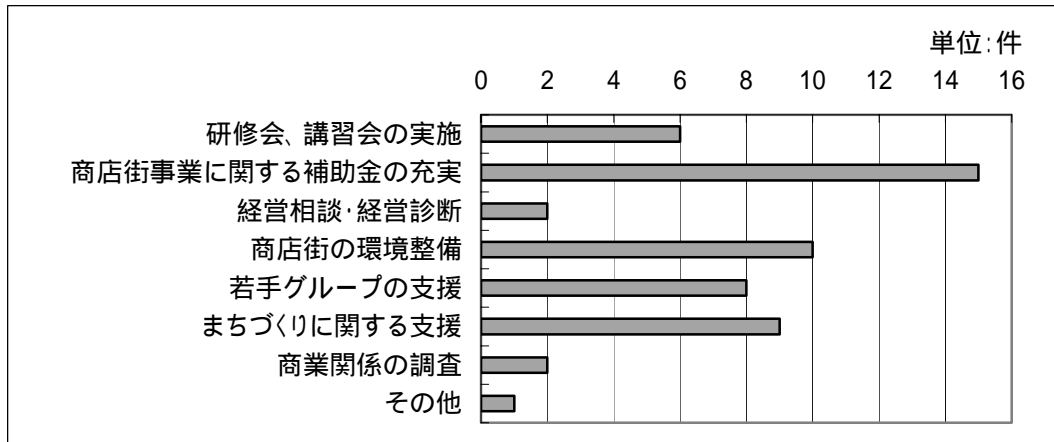
商店街活性化活動については、積極的が約35%、消極的が65%となった。

### 今後行いたい活動について



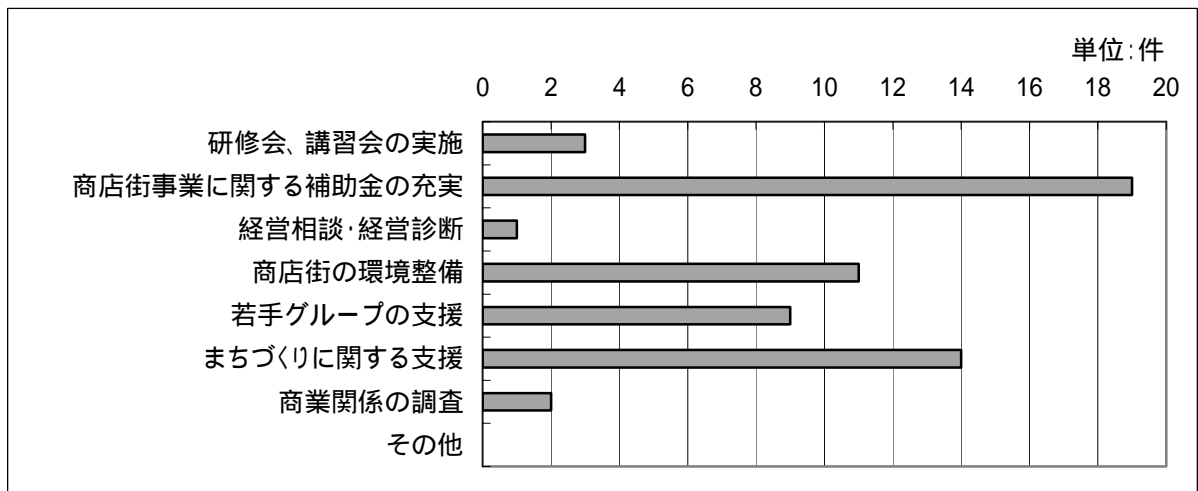
今後行いたい事業としては、「地域貢献活動」が最も多く、「催事・イベントなどの実施」がそれに続いた。

商工会議所に対して望む事業



その他の意見は「ところざわまつりの継続」。

市に対して望む事業



望む事業としては、商工会議所・市ともに、「補助金の充実」が最も多く、次いで「まちづくりに関する支援」や「商店街の環境整備」など、ほぼ同じ項目に意見が集まった。

